



市長の事業者訪問

FACE to FACE 27

細田 貴洋さん(露地野菜栽培農家) 所在地/針ヶ谷2丁目

おおむね40歳までの市内農業者によって組織される富士見市農業青年会議所の会長である細田貴洋さんに、就農のきっかけや農業の魅力などを伺いました。

「家を継ぐ」他業種から農業の道へ

細田さんは、針ヶ谷2丁目目で、ニンジン、カブ、枝豆など年間を通して10種類の野菜を露地栽培しており、訪問時にはサツマイモを収穫していました。父親の勉さんと2人で農業を経営しており、スーパーの産直売場やJAの直売所などに出荷しています。農業を始めて約10年が経過する細田さんですが、学校卒業後は会社員の道を選び、システムエンジニアから転身した経歴をお持ちです。「結婚や妻の出産を経験し、これからの人生を考えたときに、実家のことが気になるようになり、妻の勧めもあって、家を継ぐことにしました」と就農のきっかけを教えてくださいました。農業に励む父親の姿を見て育ちましたが、就農当時は耕作はしていたものの自家消費が多く、出荷先の開拓から細田さんの農業経営はスタートしました。

つながりを大切に仲間と共に歩む

就農の翌年なららぼーと富士見が開業するタイミングであったことから、1階の「いるマルシェ」の直売から始め、その後は、農業の先輩から方法を教えてもらい、スーパーへの飛び込み営業で販路を拡大していき、現在に至ります。

「価格付けをはじめ、自分の意思でさまざまなことを決められるところに農業の楽しさや魅力を感じています。今後は、作付け面積を増やしたいとも考えていますが、親も高齢なので、長期的視野で営農の継続に向けて考え中です」と話すとともに「若手農業者の皆さん、農業青年会議所は情報交換の場にもなります。活動を通じて、地域の農業を一緒に盛り上げていきましょう」と会長の責務を忘れない細田さんでした。

今回の訪問では、高齢化や担い手不足が深刻な農業において、農業のスマート化による担い手支援など、若い世代が農業を盛り上げていくために必要な支援策について考える機会になりました。

※自宅での直売は行っていません。農家に直接連絡することはご遠慮ください。

■市公式
ホームページ



■ SNS



LINE
Facebook
X(旧Twitter)
Instagram
YouTube



【カタログポケット】広報『富士見』を多言語で



【マチイロ】広報『富士見』をスマートフォンで



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴



Fujimist募集

市内在住、富士見市出身の方などで活躍されている方を募集しています。自薦・他薦は問いません。



みんな笑顔☆ふじみ ☎ 049-251-2711(代)

富士見市

FAX 049-254-2000

〒354-8511

富士見市大字鶴馬1800-1



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



古紙の回収率100%再生紙を使用

